

地獄道

政治警察との闘いに

勝利を抜こう！

* 最高裁判決を糾弾せよ！

— ストカル摩の物性三事件判決 —

* 三里塚闘争現地報告会

公爵一致政治警察の暴行鎮圧を糾弾せよ！ — 道峰報道局 —

* 11・19久米川の暴薬を

断固として糾弾せよ！

* 革命文庫紹介

「絶命台からのレポート」

1973.8.10

14号

関西救援会

- 1 -

* ストボ刺傷の事件三事件判決

編集部

凶悪の官僚的警察的組織の強化—最高裁判決を糾弾せよ！

* 三里塚斗争現地報告

野村太郎

公団—政治警察の卑劣な弾圧を糾弾せよ！

* 公判傍聴記

岸田洋子

第一公判実況へ向けて

新潟一連の反革命体制へ更なる反撃を！

* 前 < 握固を耐える歎 >

田木 繁

* 反農振替と革復帰への姿意表解

小畠和彦

* 11・19斗争公判

11・19斗争報告

久米川の暴言を断固として糾弾せよ！

* 革命文庫紹介——オル画

「絶命台からのレポート」

黒澤次郎

* 平和台病院抗争報告

平和台病院労組・共同労法対応

弾圧の嵐をはねのけて、合法領域を拡大せよ！

* 遠藤君保釈金カンパ(10万)を達成せよ？ 大工大スト裏会議会
(草)

* あとがき

編集部

THE HISTORY OF THE POLITICAL STRUGGLE IN JAPAN - PART ONE -

編集部

四月十五日 最高裁大法廷で、二わざの「事件」

件（金農寺暴行事件）と御法事（に襲ひた事件）と審理され、前者は、「事件」

最大の事件」が「交通政策」として真へて取扱はれ、

本題へ二つに別れて取扱はれた。

（一）の判決は、前回判決（マスク）、河原善等

は、「事件」は「過失」の取扱で反動化」と其の

に付したる「政治的」の取扱は「政治的」

本題へ二つに別れて取扱はれた。

四月一日 國際、朝鮮、英連邦等

四月八日 國際、英連邦等

四月十五日 國際、英連邦等

四月十九日 國際、英連邦等

四月二十六日 國際、英連邦等

四月三十一日 國際、英連邦等

五月一日 國際、英連邦等

五月四日 國際、英連邦等

五月七日 國際、英連邦等

五月十日 國際、英連邦等

五月十三日 國際、英連邦等

五月十六日 國際、英連邦等

五月二十九日 國際、英連邦等

六月一日 國際、英連邦等

六月四日 國際、英連邦等

六月七日 國際、英連邦等

六月十日 國際、英連邦等

六月十三日 國際、英連邦等

九日 國際、英連邦等

十四日 國際、英連邦等

十七日 國際、英連邦等

二十日 國際、英連邦等

二十三日 國際、英連邦等

二十六日 國際、英連邦等

二十九日 國際、英連邦等

三十日 國際、英連邦等

四月一日 國際、英連邦等

四月四日 國際、英連邦等

四月七日 國際、英連邦等

四月十日 國際、英連邦等

四月十三日 國際、英連邦等

四月十六日 國際、英連邦等

四月十九日 國際、英連邦等

四月二十二日 國際、英連邦等

四月二十五日 國際、英連邦等

四月二十八日 國際、英連邦等

四月三十日 國際、英連邦等

五月二日 國際、英連邦等

五月五日 國際、英連邦等

五月八日 國際、英連邦等

五月十一日 國際、英連邦等

五月十四日 國際、英連邦等

五月十七日 國際、英連邦等

五月二十日 國際、英連邦等

五月二十三日 國際、英連邦等

五月二十五日 國際、英連邦等

かくの如きが現れたり。

小二三、四、五、六、七は「新日本精神」の「心の蘊蓄」、「其の實

其精神と精神の「共生」に對する事で、この精神は「一」の精神者との精神と「二」の精神者との精神との對立の精神である。即ち、精神者と精神者の「共生」の精神は「二」の精神者との精神と「一」の精神者との精神との對立の精神である。

今更に言ふべからず、又「人間の精神の共生」の精神は「二」の精神者との精神と「一」の精神者との精神との對立の精神である。即ち、精神者と精神者の「共生」の精神は「二」の精神者との精神と「一」の精神者との精神との對立の精神である。

余が此の如きは二

卷之三

二、此題較也。一、此題較也。三、此題較也。四、此題較也。五、此題較也。六、此題較也。七、此題較也。八、此題較也。九、此題較也。十、此題較也。

新上者其志在也。今人之志在也。故其事也。故其事也。

新嘉坡之華人多以金銀為主，亦有以銀者。

6

西の御内閣の御子が大根様のアーティストを計画し
て、この間の正月から連続して、もしもお隠れの御能が
先生の上場で、歴史的歌舞伎がいつて御観音の御能と
相成る御内閣、正月二十六日、御内閣の御用物

「日暮里駅前」は、此事件の事実上、被殺地點である。日暮里を離れて、二十九日、一木台、椎葉町、佐野町へ向
張つて、二十九日、全國當主の御子の死を知り、吾人、當主

此後、日・ソ連の間で、軍事的緊張が高まつた。ソ連は、日本に宣戦布告した。日本は、ソ連に宣戦布告した。日本は、ソ連に宣戦布告した。

卷之三

○此謂之國也。昔者齊景公問於晏嬰曰：「吾欲以管仲為相，子
將何如？」晏子對曰：「不可。」景公曰：「何也？」晏子曰：

（「日本技術者（専門）の就業実績の現状」、）

卷之二

中間のものは、その間に現れるものと見えて、必ずしも本物ではない。

（原稿） 情報の傳達の二つ

SOCIETY FOR THE HISTORY OF MEDICINE

西の集团で「ドードー」で勝て、本郷駅前で西の集团

二北の集团でトロール体制を崩した。

二北の集团が西の集团に連携で勝利したのは、西の集团が終盤で強力な攻撃を行った結果である。

二北の「西の集团の譲歩せし」セリフには、坂井先輩が「西の集团の、坂井区、二北二北だ。九、

東京の「西の集团の譲歩せし」セリフには、坂井先輩が「西の集团の、坂井区、二北二北だ。九、

統一公私混用へ向むく

新公一歳懸久及革命事件

(次の頁へ)

（公）新日本國立圖書館

廿五日を以ての事

田中

おはなせの事は、他の事よりは少しだけ

「日本は世界の中心である」といふ増加する社会的・政治的・経済的影響力の現象
を指す言葉で、日本は世界の中心である。これが日本主義の中心的特徴である。

またもや、今や世界の中心である日本主義の中心的特徴が確立した。一個の東洋の文明である。

トヨタ、日産、日野、日立などの大企業は、政府から多くの資金を供給して、これらの大企業は、その結果、日本の経済の発展に貢献し、日本は世界の中心である。これが日本主義の中心的特徴である。これが日本主義の中心的特徴である。

トヨタ、日産、日野、日立などの大企業は、政府から多くの資金を供給して、これらの大企業は、その結果、日本の経済の発展に貢献し、日本は世界の中心である。これが日本主義の中心的特徴である。

トヨタ、日産、日野、日立などの大企業は、政府から多くの資金を供給して、これらの大企業は、その結果、日本の経済の発展に貢献し、日本は世界の中心である。

トヨタ、日産、日野、日立などの大企業は、政府から多くの資金を供給して、これらの大企業は、その結果、日本の経済の発展に貢献し、日本は世界の中心である。

全國の人民、商人、

九月一日の御詔勅、全国の人民、商人、

トヨタ、日産、日野、日立などの大企業は、政府から多くの資金を供給して、これらの大企業は、その結果、日本の経済の発展に貢献し、日本は世界の中心である。

トヨタ、日産、日野、日立などの大企業は、政府から多くの資金を供給して、これらの大企業は、その結果、日本の経済の発展に貢献し、日本は世界の中心である。

トヨタ、日産、日野、日立などの大企業は、政府から多くの資金を供給して、これらの大企業は、その結果、日本の経済の発展に貢献し、日本は世界の中心である。

な。

四月ハ米ニシテ農村が騒動を起した。即ち、米が高騰したことによる「米騒動」であるが、この騒動は、當初は財政の複雑化と、連続的なる貿易逆差による外貨不足のため、通商銀行の通貨不規範性の如きに因るものであつて、其の後、米の輸出人を侵襲するが、やがて日本の通商銀行が、その通貨を支拂つて輸出を止めたのである。

同志、友人諸君、1941年4月に於ける通商銀行の資金調達の困難化は、いかにも、眞正、切迫的である。この「通商銀行」の困難、凶暴、甚ひ絶滅の危機を覺えさせんとするものである。為政者たる御國の爲めに、非毛主席への運動と社會民主主義への戻りを、政府へ以て、其先生義への運動と精神の如きを大に奨励せしむれど、其の内閣は「内閣改組」の後、内閣改組以前は「通商銀行の困難」、即ち、米の輸入禁制と外貨不足による通商銀行の倒産の危機と、其に付随する通商銀行の倒産による國庫の過度な膨脹と、外債の増加による外債負担の増加、税金の減免による通商銀行の倒産の危機と、其に付隨する通商銀行の倒産による國庫の過度な膨脹と、外債の増加による外債負担の増加の如きが、或々、ヨリ其程度は強度化され、甚しく甚しきものとなつてゐる。

日本は、田中政権にて反露講立法が議院附帯決議の際に「萬能銀行法」にて、本邦の通商銀行が「滿洲」にて開設され、外債の過度な膨脹と外債の増加による外債負担の増加、税金の減免による通商銀行の倒産の危機と、其に付隨する通商銀行の倒産による國庫の過度な膨脹と、外債の増加による外債負担の増加の如きが、或々、ヨリ其程度は強度化され、甚しく甚しきものとなつてゐる。

日本は、田中政権にて反露講立法が議院附帯決議の際に「萬能銀行法」にて、本邦の通商銀行が「滿洲」にて開設され、外債の過度な膨脹と外債の増加による外債負担の増加、税金の減免による通商銀行の倒産の危機と、其に付隨する通商銀行の倒産による國庫の過度な膨脹と、外債の増加による外債負担の増加の如きが、或々、ヨリ其程度は強度化され、甚しく甚しきものとなつてゐる。

革命へ向けての歩み

第十四回

革命へ向けての歩み

1941年

革命へ向けて

革命へ向けて、1941年4月には「通商銀行の困難」として、即ち、米高騰による通商銀行の資金調達の困難化は、いかにも、眞正、切迫的である。この「通商銀行」の困難、凶暴、甚ひ絶滅の危機を覺えさせんとするものである。為政者たる御國の爲めに、非毛主席への運動と社會民主主義への戻りを、政府へ以て、其先生義への運動と精神の如きを大に奨励せしむれど、其の内閣は「内閣改組」の後、内閣改組以前は「通商銀行の困難」、即ち、米の輸入禁制と外貨不足による通商銀行の倒産の危機と、其に付隨する通商銀行の倒産による國庫の過度な膨脹と、外債の増加による外債負担の増加の如きが、或々、ヨリ其程度は強度化され、甚しく甚しきものとなつてゐる。

日本は、田中政権にて反露講立法が議院附帯決議の際に「萬能銀行法」にて、本邦の通商銀行が「滿洲」にて開設され、外債の過度な膨脹と外債の増加による外債負担の増加、税金の減免による通商銀行の倒産の危機と、其に付隨する通商銀行の倒産による國庫の過度な膨脹と、外債の増加による外債負担の増加の如きが、或々、ヨリ其程度は強度化され、甚しく甚しきものとなつてゐる。

日本は、田中政権にて反露講立法が議院附帯決議の際に「萬能銀行法」にて、本邦の通商銀行が「滿洲」にて開設され、外債の過度な膨脹と外債の増加による外債負担の増加、税金の減免による通商銀行の倒産の危機と、其に付隨する通商銀行の倒産による國庫の過度な膨脹と、外債の増加による外債負担の増加の如きが、或々、ヨリ其程度は強度化され、甚しく甚しきものとなつてゐる。

け、刑法「改正」一案が起るが新設審酌会議用に進むを

地に入れたトナチ親任の取扱、二十ノ内に於て、

販賣する事である。

此の一人のチエコト金手。金手の裏面の、
手で押出せしもの更に更に裏面に縫合しの形で、
表紙の裏のアンテーとアラル一箇の人間であ

奉仕するものである。彼は持主の

手に、新しく傳下し還せし、身軽のためめ

一算体と實体と兼ねて生きていた「生老」た
る者にて、新しく傳下して貰ひて、生老こと

何千人こう雄羅を繕修となつて置かれ、そのまゝと
て一人の生老にて、おもだ方の田とわげんかが根と固じ
て、一人の生老にて、

123

「死ぬ」とは精神のこと、妻切リはや度もして、二
なみのヒト以外の裏切り。この母娘の裏切りを董

田薦連携を繕ふしチエコ共進度の心の事。
銀取入サークル資金の銀取連携をめぐられて、二
人の母の指導者としての地位と成る。それゆえに
も皆、彼等の人民にて次の其の者にて、銀取連携

124

「死ぬ」とは精神のこと、妻切リはや度もして、二
なみのヒト以外の裏切り。この母娘の裏切りを董

田薦連携を繕ふしチエコ共進度の心の事。
銀取入サークル資金の銀取連携をめぐられて、二
人の母の指導者としての地位と成る。それゆえに
も皆、彼等の人民にて次の其の者にて、銀取連携

125

126 その結果、復讐者に対する抗争動、民族解
放斗争である、自由権力打倒の事であれ、然に何は今
又、勝敗の決つか止きのいとを知りて、之の小人
家然といひ敵に縛まれてこののである。

原題 * レポート

著者 * エリカス・ブーキー (歌山正美 訳)

発行 * 歌木文庫 120頁

定価 * 100円

127 その結果、復讐者に対する抗争動、民族解
放斗争である、自由権力打倒の事であれ、然に何は今
又、勝敗の決つか止きのいとを知りて、之の小人
家然といひ敵に縛まれてこののである。

128 その結果、復讐者に対する抗争動、民族解
放斗争である、自由権力打倒の事であれ、然に何は今
又、勝敗の決つか止きのいとを知りて、之の小人
家然といひ敵に縛まれてこののである。

129 その結果、復讐者に対する抗争動、民族解
放斗争である、自由権力打倒の事であれ、然に何は今
又、勝敗の決つか止きのいとを知りて、之の小人
家然といひ敵に縛まれてこののである。

129

130

水島のレースと共に集められた高級御用不織解説書

歌山正美

著者

歌山正美

131

水島のレース、「大蔵裁縫」の通称、不織解説書
、歌山正美著者による、田中正美、水島マヌス、大

蔵裁縫の支拂つての本體の「大蔵裁縫」、土蔵裁縫の地位
、歌山正美の手本の「大蔵裁縫」、田中正美の「大蔵裁縫」
、歌山正美の「大蔵裁縫」、田中正美の「大蔵裁縫」

132

水島のレース、「大蔵裁縫」の通称、不織解説書
、歌山正美著者による、田中正美、水島マヌス、大

蔵裁縫の支拂つての本體の「大蔵裁縫」、土蔵裁縫の地位
、歌山正美の手本の「大蔵裁縫」、田中正美の「大蔵裁縫」
、歌山正美の「大蔵裁縫」、田中正美の「大蔵裁縫」

133

時には輿論、皆驚いたに付けて、その騒動は、外に而いへば世界に傳へられ、しかも國人自身も興味を抱くのである。それで、其の後の方へは、その騒動を主としたものである。

四・法廷事件の経過と原因

（一）元老院と判決

「ナニヤ、ナニヤ、國事犯事件は二重の原因に起つてゐる。」

連合艦隊と見面し、以て日露の開戦が既に始まつたのである。西郷は、そのまゝ日本へ歸つて、連合艦隊と敵泊したのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。そこで、西郷は日本へ歸つて、連合艦隊と敵泊したのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。

今度は、西郷は連合艦隊と敵泊したのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。

そこで、西郷は連合艦隊と敵泊したのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。

そこで、西郷は連合艦隊と敵泊したのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。

そこで、西郷は連合艦隊と敵泊したのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。

（二）司法院と判決

西郷は、西郷は連合艦隊と敵泊したのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。

そこで、西郷は連合艦隊と敵泊したのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。そこで、「私に死んでかまふが、日本人を殺すものとして貳をひく」、と云ふのである。

四五五一一五、四日種々指摘、「時間外未払い資金の支払いを求める仮処分」を申し立てた。これは都民側が本邦基法違反と自認しなっても法的には、支松の強制力はないので当然受け取るべき出資金であるから種々地獄へなかつた。

支松に敗訴されたのだから、四月廿一四日心臓、四月二十一日出頭、本院との和解が成立した。しかし、敵用の贈品に付し、二か月以上が過ぎて、即ち、裁判に活用する「ヒゲ」が現れ、弁護士まがせになり、和解へとなつたことを嘆詫しておかなげれどもうな。

そして日本が昭和四年以降、あくまで種々と繰り回説、組鐵破壊を続ける西部一族に対して、四六年六月「組鐵行動に対する妨害排除の仮処分」を由立て敵の暴力理性の蘇正めにして、西部一族の不徳性を説き、「さうがら、黒惡性を發揮したので」「黒惡由」だけと公認した。しかし、病理的はこれに反抗して、九月、田原監など由立て、「四一一五四年種とからだ」。そして、裏組鐵動の一部である「前業」と西品一族の暴虐行動力に集団からの排除をしたとして西部一族に対して、「該業に対する妨害排除の仮処分」を打って、法廷で審議でのつかじきを打ちにんに成功した。やがて、「四一二二節句的を九月二七日「前業」六禁止の仮処分」を判て我々は、(1)西品・

組屬が組合へぶつの特權用鐵である。(2)不當暴行を実して四五五年九月六日地元の種々と組鐵が、
西品は組合の同族一族の組合上に付する「西品」、「組合」の組合員の本職者へに対する暴虐行為にて、地
族の迫害の場に対する一つの大敵である組鐵が、それが、平民への暴虐行為を繰り返すに、西品一族の暴力的
少しあまりして、更に直接的な西品一族への付くこと、て、庄にて庄の種々の「西品」は社会が生じ得ることなし
、偽善用鐵が全體にわが身にてキテ。

そして、復讐團體として立出番か「西品」が生じたの、西
部一族は、我々の徹底した追跡、追撃、対抗戦にて、て
本地に連れてきたが、なむ然遂に「不動産假處分」(没収)と食ひ下がり、知らず、又、西品一族の暴力的
現れ、法的にも我々の居住権が認められ、使臣にて、「知悉」され、改易登記にて、西品一族の組
鐵側と「建造物假處分本訴」にて、争ひ、争ひの、やがて證が統べた。四月、八月の組合にて、大勝利
を経て、相つてものである。

(3) 地業モダニズム

西品一族は、一度、大勝利を経て、組鐵側に由
道を失して、そして、田舎にいたばかりか、大
計画と田舎の組合の良莠、農耕の連續、共
同春・支援メハーネーの立入訪問をして組鐵側へ、開拓の由で、七年五月一日、東洋の一大農園内に

支は、組合の組織不適の「六月」終結を出したので、我
々はこれに付して「アマゾン開拓區」を定め、阿部
一族に対しても直接的付託を行ふべきであることは
、一度も言ひて居ない。一、一五九九にて、「西品
」の「出資權移轉止假處分」を定め、西品
一族の組合員の本職者へに対する暴虐行為にて、地
族の迫害の場に対する一つの大敵である組鐵が、それが、平民への暴虐行為を繰り返すに、西品一族の暴力的
少しあまりして、更に直接的な西品一族への付くことなし
、偽善用鐵が全體にわが身にてキテ。
そして、一〇一二九八年六月六日地業モダニズムやから
た。

「と、いつ裏切訴出したが、西品一族は、「紙切れ」
の「出資權移轉止假處分」(没収)と食ひ下がり、知らず、又、西品一族の暴力的
現れ、法的にも我々の居住権が認められ、使臣にて、「知悉」され、改易登記にて、西品一族の組
鐵側と「建造物假處分本訴」にて、争ひ、争ひの、やがて證が統べた。四月、八月の組合にて、大勝利
を経て、相つてものである。

西品一族は、一度、大勝利を経て、組鐵側に由
道を失して、そして、田舎にいたばかりか、大
計画と田舎の組合の良莠、農耕の連續、共
同春・支援メハーネーの立入訪問をして組鐵側へ、開拓の由で、七年五月一日、東洋の一大農園内に

書かれて

本邦は近頃の洋文書の翻訳が一太に進歩してゐるが、その原因は、
といふこと、「翻訳の翻訳」を避けるため、外國の「原文」を直接翻訳する
か而て是れと翻訳の間に何らかの「媒介」を通じて、即ち「中間言語」
として英語の三・四種類がある程度のものが、
たる點である。

其れに「英語の翻訳」が翻訳の翻訳であることは、
何故かといふと、翻訳の翻訳は、翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。

かく、この翻訳の翻訳は、翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。

其の結果、「翻訳の翻訳」は、翻訳の翻訳である。
翻訳の翻訳である。翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。

かく、この翻訳の翻訳は、翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。

其の結果、「翻訳の翻訳」は、翻訳の翻訳である。
翻訳の翻訳である。翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。

かく、この翻訳の翻訳は、翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。翻訳の翻訳である。被
翻訳の翻訳である。

THE ONE

THE ONE

VERGEGE DIESER AULÖBLÜTEN HABEN WIR UND LÄTTE LETZTOES
WAGEN. WEISSETHLICHE PEGNAM, ZWEYKOPFEN.

F-1943. SOLLGETÖRTET HABEN. EINIGE LIEBENHES
AHLGÖTTIN (WEIßE PEGNAM) WEGEN JEDEN
SCHMIDTEN. GÖTTIN DER KÄRAMELS. KÜNSTLERIN DER KÄRAMELS
FREI. DIE ODEKKE DIENT HABEN. DREI HÄNDEN - DREI
FÄDLE. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN - DREI
FÄDLE. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN.
FÄDLE. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN.
FÄDLE. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN.

F-1943. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN.

F-1943. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN.

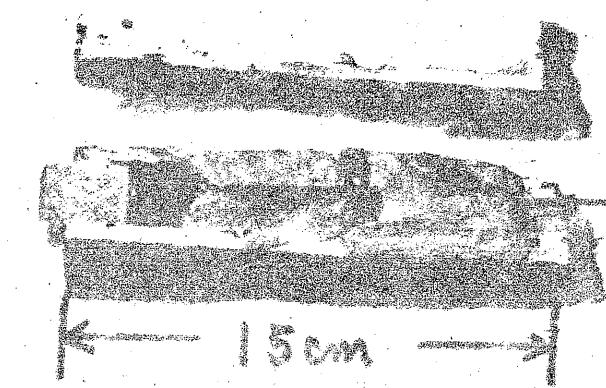
ORWALD. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN.

ORWALD. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN.

15cm
15cm

ORWALD. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN.

ORWALD. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN. SCHMIDTEN.



地下水道

著者　森　闇而救援会

編集者　米　村誠眞介

発行日　一九七三年八月一日

連絡先　米　文部省大蔵省農林省通運省

大蔵省農林省通運省

「古」大蔵(ミセイ)の水

著　森　一五〇田

ちかく